

平成21年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	公共下水道事業(建設事業)				開始年度	昭和56年度	
基本目標	快適でうるおいのある生活文化環境の整備				終了年度	平成50年度	
担当課(局)	上下水道課	担当係	下水道係	記入者	長友和也	評価者	芥田秀則
20年度決算	119,075	千円	21年度予算	134,655	千円	事業の実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 単独
20年度人件費	7,403	千円	21年度人件費	5,535	千円	事業従事者数	1.03 人 0.76 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	快適な生活環境の創造と水質保全を目的として汚水処理を行うための下水管及び処理場等の建設を行う。
事業の内容	平成8年3月から一部供用を開始し、現在、233haの事業認可区域を平成22年度までの事業期間で実施中、平成20年度まで処理区域面積183.1haを整備済。普及率29.9%、水洗化率68.7%となっている。

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 普及率	事業認可区域の配管工事を進めることによって、下水道への接続可能世帯が増加する。
	2 放流河川の水質改善	接続世帯の増加により地区内排水及び宮田川の水質が向上している。
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 発注時期の平準化	工事の発注時期が偏ることがないように上半期80%の発注を行う。
	2	
	3	

◎達成状況

指標名		単位	19年度	20年度	21年度
成果指標	普及率	目標値	27.2	28.5	30.2
		実績値	28.9	30.0	
		達成率	106.1%	105.2%	
	放流河川の水質改善	目標値	2.0	2.0	2.0
		実績値	1.3	1.3	
		達成率	65.0%	65.0%	
活動指標	発注時期の平準化	目標値	75	75	80
		実績値	82	88	
		達成率	109.3%	117.3%	
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	
0	目標値				
	実績値				
	達成率	#DIV/0!	#DIV/0!		
0	目標値				
	実績値				
	達成率	#DIV/0!	#DIV/0!		

◎事務事業の評価

妥当性(必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	各市町村で国庫補助を受けて事業を実施している自治体がほとんどであり、公共下水道は住宅等の密集している市街地等で事業効果を発現しうるので、隣接市町と市街地が繋がっていない当町では、現行の事業手法が適当であると考えます。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	平成8年に供用開始後、市街地内の排水の悪臭や処理水の放流先の河川の水質は、確実に改善されており、十分な成果が得られている。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	全国的な動きの中で、本町でも可能な限り工事発注の平準化やコスト縮減に努めており、今後も情報収集に努め、より効率の良い事業執行に努めていきたい。 なお、現事業認可区域が完了した場合、認可区域を拡充すると処理場の拡充が必要となり、莫大な初期投資が必要となるため検討が必要。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	町施行の公共下水道事業である。

事務事業名	公共下水道事業(建設事業)	担当課(局)	上下水道課
-------	---------------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	公共下水道事業については、事業を継続していかなければならないと考えるが、厳しい財政事情から進捗度合いについては検討を要する。現在の認可区域については、事業期間を延伸しても完了させるべきであると考えているが、その後の計画区域については、今後協議を進めていく必要がある。	今後の方向性				
			拡充				
			現状維持			○	
			縮小				
			廃止				
			廃止	縮小	現状維持	拡充	
			コスト				

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎水洗化率を指標として挙げてもらいたい。 ◎今後は、計画区域への対応も出てくると考える。
	コスト	現状維持	